

# ..... 2018 ..... UltraLight Space Systems Laboratory, Tokai Univ. ....

1月							2月							3月							4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4	5							1	2
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23
28	29	30	31	25	26	27	28	25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30													



Photo by TSUNODA Hiroaki

**蛇腹折り（ペローズ）**：宇宙構造物でも最近では展開式のものが増えてきました。展開式と言っても展開方式は千差万別で、用途や形状・サイズも様々です。その中には、昔からある望遠鏡の鏡筒のような用途もあり、身近で似たものを探してみると、折り畳めるレンズの鏡筒というのがありました。このカメラはスプリングカメラと呼ばれるもので、先端にレンズがついており、本体との間に蛇腹折りのペローズがついています。蛇腹と言っても、別に蛇のお腹を模倣して考え出されたわけではないようです。断面が偶数の辺で構成される多角形（ここでは四角形）であれば、このようにそれぞれの面をジグザグに折ることができます。蛇腹折りは折り目が平らになるまで開いてしまうと、収納させようとした時に逆折りになってしまい、元の形に戻らないので注意が必要です。このカメラは、筆者が所有するMinolta Semi P（フィルムサイズ6×4.5cm）という機種で、右端の写真はこのカメラで撮ったものです。今時のデジカメのセンサーサイズを凌ぐ大判のためか、順光であれば意外に鮮明に写ります。

7月							8月							9月							10月							11月							12月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4							1	1	2	3	4	5	6							1	2	3							1
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8	
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15	
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22	
29	30	31	26	27	28	29	30	31	23	24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29									